

# あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
- 連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5  
電話 03(3849)1188  
FAX 03(3849)7001
- 印刷足立区大谷田就労支援センター  
法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

## 新年を迎えて

理事長 岸本 美恵子



新しい年が、皆様にとりまして一層充実された年になりますよう、心から祈念いたします。

当法人は、今年後半に創立20周年を迎えます。どんなに障がいも重くても在宅者を出さない、という強い願いと運動の成果から創設された法人ですが、足立区をはじめ、後援会や多くの方のご支援で今日まで歩んできてきました。心から感謝申し上げます。

今、法人は、左記のような中期経営計画（平成23年～27年）に添って事業を推進しております。

- ①新施設計画Ⅱ西部地区に通所施設開設（平成27年4月予定）  
グループホーム・ケアホーム開設 綾瀬1棟、青井2棟（平成25年～26年）
  - ②新たな人事制度の構築Ⅱコンサルタント会社を入れ、新しい人事制度の仕組作り（平成25年度から運用）
  - ③医療ケアⅡ東京都登録研修機関の事業者認定を受け、法人内で特定医療行為のできる支援者養成（平成24年～25年）
  - ④地域生活相談支援Ⅱ入所施設の地域移行。多様な利用者ニーズに合った生活支援や作業内容の見直し、福祉アパート構想の整備（平成24年～27年）
  - ⑤新会計移行Ⅱ移行準備として拠点ベースのシステム構築（平成25年度から運用）、新会計移行（平成27年度）
- 社会の流れや福祉分野の動向を見極めながら、新しい発想や視点の大切にして、自分たちの成すべきことを一つ一つ達成し、障がいのある人が、地域での安心した生活に一步でも近づけるよう、役員一同、力を合わせて進んでまいります。
- 本年もご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 新年のご挨拶

後援会長 秋山 啓司



あけましておめでとございませう。年末恒例の漢字選びの文字は「金」でした。オリンピック、パラリンピックの金メダル、山中伸弥教授のノーベル賞、そして金環日食等が対象になったのでしょ。

障がい者スポーツ発祥の地で行われた、ロンドンパラリンピックでは金5個をはじめ、過去最多の計16個のメダルを獲得した。中でも競泳女子100メートル背泳の秋山里奈選手は金メダルに輝いた。目が見えない同選手はメダルについて、「きっとこの世で一番きれいな色なんだと思います。」と云った言葉に目頭が熱くなるのを覚えた。

生理学・医学賞受賞の山中教授は、「iPS細胞をこれから患者に役立つ病気治療に使いたい。」と云っております。病気やけが、或いは生まれつきの人も含め、失われた身体機能がiPS細胞の応用や創薬で治療し、動かなくなった身体が動くようになり、見えない目に明りが差すようになったら、こんな素晴らしいことはないと思えます。

金環日食は天候に恵まれ、十分に観測することができた。私たちの暮らす天の川・銀河だけでも2000億個もの星が存在し、宇宙全体では同様の銀河が1000億以上あるといわれています。驚きと同時に宇宙の神秘の深奥さを感じます。その中の一つの星、地球に70億人が住んでおります。その一人ひとりが出会い心を通わせる、その確率とはいかほどのものであろうか、こう思う時、人との出会いは偶然でもあり貴重なもので、今迄以上に大事にしてゆきたいと思えます。

当たり前の日常、身近にいる家族、友人、職場の人たちとの毎日の時間をもっと大切にしながら生きてゆきたいと思えます。結びになりましたが、「あいのわ福祉会」の発展と皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

### 足立あかしあ園だより

新年明けましておめでとつござい  
ます。

平成25年がスタートしましたね。芯まで冷えそうな寒さでも、新年からパワー全開で元気に、楽しく活動していきます!!

昨年末に忘年会を行いました。今年のテーマは「フアンタジー」。会場は白で統一された装飾で、キラキラの電飾やオーナメントなど、クリスマス風の素敵な雰囲気の中行われました。

食事はクラムチヤウダー、白身魚のマリネ、ドリア、チーズケーキなど。飲み物もすべて白で統一、まさにフアンタジーでした。



素敵な雰囲気の中で美味しい食事を楽しくお腹いっぱい食べ、お腹も気持ちも大満足の1日となりました。今年も1年、楽しいことがたくさん素晴らしい年となりますように…。

(飯島)

### 綾瀬あかしあ園だより

新年あけましておめでとつござい  
ます。本年も、綾瀬あかしあ園をどうぞ  
宜しくお願い致します。

昨年は4月より、施設長の異動に始まり、新グループのスタート、サークル活動の導入等あり、ドタバタと皆で駆け抜けた1年間だったように思います。

ご利用者、ご家族の皆様から、はじめは職員がドタバタしているという声がかかれたりしましたが、時間が経ち落ち着いてくると、「とても良くなった」「活動がわかりやすくなった」等、色々なご意見をいた



いています。まだまだ発展途中なので、皆様からの声にしっかりと耳を傾けて、『みんなで ほっと いっしょに いきいきと』の理念の形に向かっ  
ていきたいと思ひます。

新グループ2年目は、どつしりと腰を据えて、一つひとつの支援をしっかりと見直していきながら、「綾瀬あかしあ園、良くなったね！」の声を増やしていく年にしようと考えています。

(森)

### 竹の塚あかしあの杜きずな (生活介護入所) だより

新年あけましておめでとつござい  
ます。今年も、皆様のお陰で無事に新しい年を迎えることが出来ました。

昨年も、「きずな」の各グループは色々な活動を行いました。今回は、「竹の塚7丁目」グループの昨年の活動を報告します。

まず4月に、1年間の活動内容をグループ全員で話し合つて決めていきま  
した。ご飯を食べに行きたい・お茶を飲みにいきたい・買い物に行きたいなど色々な意見がでて1年間のスケジュールを決めました。

5月は、お寿司を食べに「赤兵衛」へ行きました。利用者の方々はお寿司が大好きです！とても美味しかったと満足されていました。7月は、楽しみにしていたバス外出でソラマチへ行き

ました。隅田水族館でクラゲやペンギンを見た後は買い物したり、間近で見えたスカイツリーの大きさに驚いていました。

10月はお好み焼きを作つて食べました。キャベツを切つたり卵を割つてかき混ぜたりと頑張つて作りました。とても上手に作る事ができて、「美味しい、美味しい。」との声と同時に笑顔が見られました。12月は忘年会です。バスで浅草へ行き、浅草聚楽でお昼ご飯を食べました。その後は浅草寺に寄り、おみくじをひいて帰つてきました。

1月は新年会、2月にはケーキ作りと楽しそうな活動が待っています。本年も竹の塚あかしあの杜「きずな」を宜しくお願ひ申し上げます。

(神木)

### 竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

今回は、利用者が主となつて行つて  
いる「自治会」が企画して行つた、12月14日(金)のイベントを紹介  
します。

「みんなでカラオケをして盛り上がる」というテーマで行  
いました。利



用者32名を5チームにわけ、それぞれでどういった出し物にするか、衣装をどうするかなどを話し合いました。「お面つくろうよー」や、「ボンボンがあったらいいね」など、準備段階から楽しい声が飛び交っていました。

当日は、酔っ払いの格好で、ネクタイ・缶ビールを持って歌を歌っている利用者に皆さん大爆笑!!

「似合ってる!!」「はまり役だね」といわれ、盛り上がりました。

他にも、「サザエさん」の歌にあわせ、それぞれ役のお面をかぶって歌を歌ったり、赤い鼻を全員でつけて、「赤鼻のトナカイ」を歌い大盛況でした。

最後は、自治会の会長がサンタに扮して登場。みんなにクリスマスケーキを配りました。「久しぶりにケーキ食べた」「おいしい」「1年あつという間だったね」とそれぞれに1年を振り返っていました。

1年間、自治会を含め、楽しいイベ



ントをたくさん行ってきました。これからも、のぞみの理念である「いっばいのしあわせ・いっばいののぞみ」に向かつて楽しいイベントを行っていきたいと考えています。

(大沼)

### 大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

11月10日(土)、北千住の「学びピア21」で、毎年恒例の就労移行支援事業室終了者、在籍者による交流会を開催しました。当日は見渡す限りのスカイプルの青空で、小春日和の暖かな一日でした。

毎年メンバーが変わる就労移行支援事業室は、お互いが初対面なので、まずは自己紹介から行いました。個性の強いメンバーの皆さん。今年度は、電車やガンダム好きの方が多く在籍しているの、自己紹介の時からかなりマニアックな内容の話も出たりして、一同大爆笑する場面も多く見られました。

自己紹介のあとは、現在就職されている先輩より、今年



度、就職を目指している後輩の皆さんへ、面接時のポイントや現在従事している仕事の内容などについて詳細に説明をしていただきました。面接時のポイントの際は、就職活動中の皆さんはメモを片手に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

「最後には、自分のやる気が面接官にどれ位伝わる事が出来るか」です、との先輩方の言葉を聞いて一同納得。簡単そうですが、意外と言葉で伝えることが1番難しい内容なのかも知れません。日頃、今回の様な機会はなかなか無いので、とても良い刺激になると同時に、先輩後輩の絆が深まり、参加者が就労という同じ目標に向かい、一丸となつている事を肌で感じました。

懇談会のあとは、皆さんお待ちかねの食事



会。会場は、「学びピア21」最上階のレストランさくらでした。大変見晴らしが良く、遙か彼方には富士山も見えていました。それぞれが好きなメニューを注文し、食事がスタートしましたが、先程までの賑やかさが嘘のような静けさで、食事中は皆さん黙々と食べていました。しかし、食事が終わると一気に賑やかになり、趣味や仕事の話し、大谷田の思い出話などで各テーブルに花が咲いていました。

最後に、玄関で記念撮影! 次回は3月頃にやりましょう、と約束をして解散しました。

今春から、障がい者雇用率が1.8%から2.0%(民間企業の場合)に引き上げられますが、就職を希望する多くの方が就職できるまでには、まだまだかなり長い時間がかかることが予測されます。

既に就労をされている方、これから就労を希望する方たちが、笑顔で楽しく、末永く仕事を続けることができるよう、今後も支援員一同サポートさせていただきます。本年も宜しくお願い申し上げます。

(鉤流)

### 神明福祉園だより

新年を迎えた利用者の皆さんの笑顔が、7日より施設に戻ってきました。

昨年末には、ご本人やご家族が病気で入院するなど、改めて地域支援の重要性を考え、実行する機会となりました。家庭支援の困難性が施設入所に直結する状態は、これまで何度となく法改正が行われてきましたが、変化がないのが実態です。

障がいのある人が、地域で暮らす困難性は改善されている状況ではありません。4月から総合支援法がスタートしますが、この間「障がい者制度改革推進会議総合福祉部会」で議論されてきた内容「提言」とは、まだまだ大きな乖離があると感じます。

障がい者の権利擁護、「その人らしく暮らすこと、そのための支援の提供」が質・量・場所等を含めトータルに提供される体制を確保することが大切になるのですが、実際のコーデネイト場面で種々の困難に直面し、施設入所を考えざるを得ない状況になってしまっています。

ご家族の安心は、利用者本人の生活が地域で継続され、家族として見守れる環境が身近にあり、これまでの通所を含めた継続的な支援を望まれていると推察できます。昨春にスタートした

指定特定相談事業が今後大きなキーパーソンになっていくと思います。福祉園でのスタートはまだですが、地域生活相談担当者を含め、相談支援の研修を修了した者、また施設全体として皆様からの相談を受け、各機関と連携・調整をすすめて「安心の継続」を柱に支援をさせていただきまます。

寒さはまだまだ続きますが、日々の活動を大切に、「信頼と安心」から笑顔があふれる施設を目指します。

皆様からのご意見を大切に栄養とさせて頂きますので、今年もよろしくお願ひします。(渡邊)

### 神明デイサービスセンターだより

新年明けましておめでとつございませす。

デイサービスでは、昨年末に流行しているノロウイルス、インフルエンザに罹らず元気に通所していただける様に、職員と共に

利用者の皆さんにも手洗いの仕方、マスクの使い方、うがいの仕方のDVDを見て頂いたり、

換気、室内、トイレ等の除菌消毒等の感染防止



に努め、大きく体調を崩した方もなく過ごす事が出来ました。今年も元気なデイサービスでいたいと思ひます。

昨年12月には、足立区役所で開かれた障害者作品展に各講習会の陶芸、絵手紙、絵画の力作を展示させて頂きました。作品展に伴い午後から区役所に見学の外出活動も行い、他の出品作を思い思いに見て廻り関心したり、感動したりアイデアに興味を持ったと貴重な時間を持てました。観賞後は、ロビーでコーヒーを飲んでくつろいだり、感想を話したりと利用者さんも楽しんでいらつしやいました。25年度の作品展も、より一層良い作品を出品できるとと思ひます。

そして、通所して良かったと言っていただけのデイサービスでありたいと思つておりますので、どうぞ宜しく願ひいたします。(岡田)



### 神明福祉作業所だより

早い物で、24年度も9カ月が経ちました。神明福祉作業所では、11月11日に施設祭り(イーストウエーブフェスティバル)を開催いたしました。

作業所では、喫茶店・革細工体験・自主生産販売・ゲーム・自転車清掃・ホールイベント司会・おふくろ亭手伝い・宣伝の8つの担当に分かれ、利用者の皆様と協力し、お祭りを盛り上げることが出来ました。

多くの方に来場いただいたおかげで、出店の売り上げは87716円でした。自主販売では新製品の力バンなどを販売し、今後も新製品を開発していきたいと思ひます。25年度も多くの方に来場して頂けるように、色々な企画も考えていきます。

12月27日の通所最終日には、年忘れ会を行い



ました。

官公需をはじめ、クラブや外出活動でお世話になっているボランティアさんと一緒に、プレゼント交換や、仮装タイム、スライドを使用した振り返りを行いました。振り返りでは、クイズ形式で利用者の皆さんに1年を思い出してもらいました。



(平原)

### グループホームオハナだより

あけましておめでとございます。昨年は大変お世話になりました。

今年の12月22日に、東京駅のホテルにクリスマスのランチを食べに行きました。本当は全員で行きたかったのですが、残念ながらみんなで行くことができず、ちよつとさみしいクリスマス会になりました。おいしいランチを食べながら、今度はみんなで行けるようにと願いつつ、楽しいひと時を過ごしました。そして25日のクリスマス当日は、オハナでも2回目のクリスマス会をしました。おいしい料理とケーキを食べながら、みんな笑顔、笑顔、笑顔

でクリスマスをお祝いしました。

平成25年が始まり年末年始をご家庭でゆっくりと過ごしたオハナのみんなが1月7日に帰ってきました。いつもの生活に戻り、笑いにあふれた日々がまた始まりました。そんな平凡な日常は心温まり幸せな気持ちになります。1月8日には新年会をしました。少しのビールで乾杯をして、「今年もみんな変わらず楽しく笑顔で過ごそうね」と約束をして盛り上がりました。みんなは食べる方に集中していましたが、にぎやかで楽しい新年会になりました。

今年も心を一つにして、みんなと一緒に豊かな気持ちで平穏な日々を過ごしていきたいと思えます。ただ体調には十分に気をつけながら…。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

(永山)

### あいのわ支援センターだより

新年あけましておめでとございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、3年目を迎えたあいのわ支援センターでは、谷中ハウスの利用者様から、イルミネーションを見に行きたいというご意見があり、12月のイルミネーション輝く夜の街に出かけました。ケアホームの利用者様は、平日は

毎日通所しているため、なかなか夜のお出かけが出来ずにいましたが、今回は利用者様の発案・計画により2回に分かれて出かけることが出来ました。

2つのグループに分かれて行き先を話し合ってから、1組目のグループは東京スカイツリー周辺と竹の塚「光の祭典」、2組目のグループは東京駅のイルミネーションと竹の塚「光の祭典」を見に行きました。テレビで見えるものと違って、本物のイルミネーションを見て皆さん大喜びでした。イルミネーションの後は2組ともお寿司屋さんに寄り、ケアホームではなかなか出る機会の少ないお刺身を堪能しました。

皆様とても楽しんでいただけました。次のお出かけのお話も盛り上がりつつあります。このように利用者様からの発信を今年も大事にしていきたいと思えます。

まだまだ寒い日が続きますが、あいのわ支援センター谷中は、居宅・ショートステイ・入



浴サービスともども熱いハートで皆様をお待ちしています。(青木)

### 感謝状いただきました

神明障がい福祉施設が、近隣火災の消火活動に協力したことから、足立消防署より感謝状を頂くことになり、去る12月28日、その授与式が行われました。



12月21日午後施設西側民家から出火。通りかかった福祉作業所・河瀬政彦職員を中心に、福祉作業所および福祉園の職員が協力しての初期消火により、最小限の被害にとどめることに成功しました。

火災そのものは決して歓迎できる事柄ではありませんが、日頃の防災訓練の成果を生かされたこと、そして地域の一員としてそのような協力ができたことについては、とてもうれしく思います。(落合)

### 投稿欄

(俳句・川柳など募集中です)

兄よりの 着荷は冬菜の 一夜漬 秋山 啓司

### この一句

初夢の 思ひ出せねど よきめごめ 三浦 恒礼子

元旦から二日にかけて見る夢が初夢で、「一富士二鷹三茄子」が吉夢の代表といわれております。朝、目が覚めてみると、ゆうべの夢がどうもハッキリ思い出せない、ということはよくある事です。今年がよい年でありますようにお祈り致します。(秋山)

### 後援会だより

(平成24年11月〜12月) 敬称略 順不同

#### ◇寄付者

佐久間庸夫、佐藤有子、西村文雄、青井住区センター  
都立青井高等学校(募金及び文化祭売上金)、野澤かつ代

★今年も多くの皆様の後援会へのご加入、ご寄付、誠に有り難うございました。今後ともごつぞよろしくお願ひ申し上げます。

#### ●竹の塚あかしあの杜「なごみ」・谷中支援センター

短期入所事業利用状況(平成24年11月〜12月)

利用人数	162名	内児童	11名
延べ利用日数	773泊	内児童	47泊

### 編集後記

巳年を迎え、新しい年が始まりました。お正月はどのように過ごされたでしょうか。

各施設は、成人式が終わると次年度に向けての作業に入り、一段とせわしさが増してくる頃になりましたね。例年より寒いこの冬、体調管理をしっかりして乗りきっていききたいものです。

さて、昨年の10月に障がい者虐待防止法が施行されましたが、それを受け、区に「これは虐待では？」との申し出が相次いで届いているようです。

目に見える虐待以外にも、私たちが普段話している何気ない言葉やふとした動作の中に、それらに該当する部分があるかも知れません。これを機に、虐待のもつ意味を再認識してみることは必要かも知れませんね。

東日本震災から2年目を迎える今年、今年こそ被災された人々に笑顔が戻ってくる年であって欲しいと切に願います。昨年の9月に宮城の地に立ち、その思いを強く持ちました。

健康でおだやかな年であって欲しいと願いつつ、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。(磯前)



#### ●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話(3849) 1188まで